

暮らし先進都市 & 内陸ハブ・シティ

首都圏南西部の活力ある広域交流拠点都市をめざして



【行政区の概要】

区名	緑区
地域	橋本、大沢、城山町、津久井町、相模湖町、藤野町
区役所	現在、橋本出張所がある橋本駅北口第一再開発ビル内（橋本6丁目）に設置。 ※橋本都市拠点地区（西橋本5丁目）内に計画中の（仮称）緑区合同庁舎完成後は、同庁舎内に設置（平成24年度以降を予定）

区名	中央区
地域	小山、清新、横山、中央、星が丘、光が丘、大野北、田名、上溝
区役所	市役所本庁舎内（中央2丁目）に設置。

区名	南区
地域	大野中、大野南、麻溝、新磯、相模台、相武台、東林
区役所	市南合同庁舎内（相模大野5丁目）に設置。

※表中の「地域」とは、現在の旧市12出張所及び4地域自治体の所管する地域並びに本庁6地域をいいます。



■津久井地域の自然環境
津久井地域は、相模湖、津久井湖、奥相模湖、宮ヶ瀬湖といった湖や豊かな森林など自然環境に恵まれた地域です。



■相模川
山中湖を水源とし、上流の山梨県では桂川と呼ばれています。県内の6割の生活用水が相模川から取水されているなど、県民生活を支えている川です。



■橋本駅周辺
鉄道3線が乗り入れる中心市街地として、交通・情報・文化・人が集まるまちづくりが進められ、近年、著しい変貌を遂げつつあります。



■小田急多摩線の延伸
首都圏南西部の交通ネットワークの充実や利便性の高い公共交通網の形成を図るため、小田急多摩線の延伸の取り組みを進めています。



■相模原駅周辺
市役所や官公庁への玄関口となっています。駅の北側に広がる相模総合補給廠の一部返還予定地を核としたまちづくり計画の検討が進められており、さまざまな可能性が期待されています。



緑区
約17.5万人
253.8 km²

中央区
約26.5万人
36.8 km²

南区
約27.3万人
38.2 km²

[各区の人口は、平成21年11月1日現在の概数]



■新小倉橋（津久井広域道路の一部）
さがみ縦貫道路の（仮称）城山インターチェンジに接続する津久井広域道路の一部として、平成16年に完成しました。



■リニア中央新幹線の構想
JR東海が平成37年度に首都圏～中京圏での営業運転をめざしているリニア中央新幹線の駅の誘致を進めています。県の「北のゲート」として、広域交流拠点都市の形成に大きく寄与することが期待されます。



■さがみ縦貫道路
首都圏の一番外側に位置する環状道路である首都圏中央連絡自動車道の一部として整備が進んでいます。都市間の連携強化、産業の発展への効果が期待されます。



■相模大野駅周辺
土地区画整理事業により整然とした街並みが形成され、駅ビルや都市型百貨店が立地した中心商業地となっています。現在、駅西側地区市街地再開発事業が進んでいます。



■相模原麻溝公園
1年を通して季節の花が美しい、本市を代表する公園です。陸上競技やサッカー、ラグビーの公式試合が開催できる競技場の整備も進んでいます。

●平成22年4月1日から住居の表示が変わります

＜変更例＞

	旧相模原市域（市役所の場合）		津久井地域（津久井総合事務所の場合）		
現在	相模原市	中央2丁目11番15号	相模原市	津久井町 ※地域自治体名	中野633番地
移行後	相模原市	中央区 中央2丁目11番15号	相模原市	緑区	中野633番地